

特別企画：2024 年正月シーズン「おせち料理」価格調査

来年の「おせち」、平均 2 万 6619 円

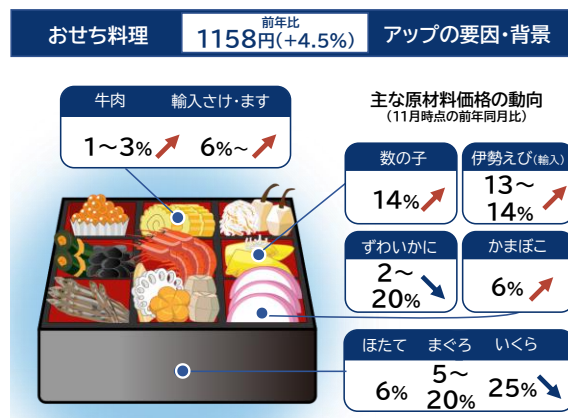
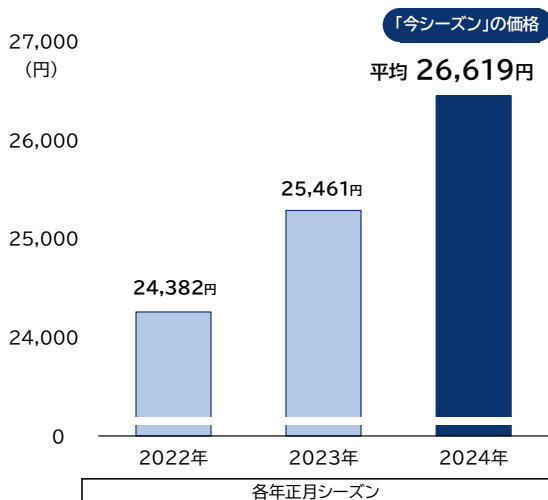
価格 1000 円アップ 「海鮮おせち」で割安感目立つ

高額おせちでも売れ行き「好調」 値上げの影響「軽微」も、価格帯は二極化進む

おせち料理の平均価格は昨シーズンに比べて約 1000 円値上がりしたものの、値上げ幅はほぼ横ばいで推移した。一部の原材料で価格が高止まりするほか、資材価格の高騰も背景にコスト高は続くものの、中国の禁輸措置による国産水産物の在庫増や、ロシア産の国内市場流入による相場下落といった要素も背景に、全体では値上げが抑制された状態となっている。

百貨店「松屋」が今年 8 月に実施した調査では、回答が得られた 489 人のうち約 7 割がおせち料理での節約を「意識しない」と回答した。4 年ぶりにコロナ禍の行動制限がない正月を迎えるなか、年末年始の帰省需要を見込んだ大人数向けのおせちや、子どもの人気が高い和洋中おせちなど高付加価値おせちの売れ行きが好調との声も聞かれ、全体的なおせち商戦における値上げの影響は昨シーズンと同様「軽微にとどまる」と予想される。ただ、一部では低価格品への人気集中といった「値上げ疲れ」の動きもあり、来年以降、価格帯の二極化がさらに進行する可能性がある。

おせち料理 平均価格推移



※ 総務省「小売物価統計調査」、店頭販売・市場卸売価格などを基に帝国データバンク推計

[注 1] 全国の大手コンビニエンスストア・百貨店・スーパー・外食チェーン・日本料理店などのうち、前年と価格が比較可能なおせち料理を対象に調査を行った。比較対象は 110 社・ブランド。標準的な三段重、または 3~4 人前サイズの税込価格

[注 2] 前年と比較できないおせち料理（企業）があるため、一部 22 年時点と調査対象が変更となっている。なお、入れ替え対象のおせちについては 21 年に遡って価格を再集計しており、データの連続性には問題がない

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 飯島 大介 03-5919-9343 (直通) daisuke.iijima@mail.tdb.co.jp

情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

来年の「おせち」、平均 2 万 6619 円 今年から 1000 円アップ、「海鮮おせち」では据え置きも

お正月の縁起物として欠かせないお祝い料理「おせち」でも値上げが続いている。全国の大手コンビニエンスストアや百貨店、スーパー、著名な日本料理店など計 110 社で販売されるおせち料理（三段重または 3～4 人前分）の価格を調査した結果、2024 年正月シーズンの平均価格は 2 万 6619 円（税込）だった。1 年前（23 年正月、「昨シーズン」）の 2 万 5461 円に比べて 1158 円、率にして 4.5%の値上がりとなったほか、2 年前の 22 年正月シーズンに比べると 2237 円・9.2%の値上がりとなった。2 年間で 1 割以上の値上がりとなったクリスマスケーキに比べ、おせち料理の値上げは小幅にとどまっている。

前年から価格が上昇したおせち料理を値上げ幅別にみると、最も多いのは「2000 円未満」で、全体の 3 分の 1 にあたる 34 社に上った。百貨店やホテルなどが展開する 2 万～3 万円台のおせち料理で値上げが多くみられる一方、4 万円を超える高級おせちや、1 万円台のリーズナブルなおせちでも 1000 円台の値上げが行われた。以下「3000 円未満」（14 社）、「4000 円以上」「1000 円未満」（各 8 社）と続き、昨シーズンから価格が上昇したおせち料理は調査対象の 110 社中 68 社と、昨シーズン（66 社）から微増となった。一方、昨シーズンに大幅に値上げを行ったものの、今シーズンは価格を据え置きとしたおせち料理もあり、その多くが海鮮を主体とした和風おせちだった。

2024 年正月のおせち料理は、原材料やコンセプトに応じて値上げか据え置きかが決まる「二極化」が顕著となった。原材料価格（店頭・卸価格ベース）をみると、洋風おせちで主役となるローストビーフの材料（牛モモ肉）や輸入サーモンは昨シーズンに続き高騰したほか、鶏卵価格も高止まりが続いたため、大幅な値上げとなった。和風おせちでも、輸入いせえびやあわび、数の子などでは価格が高止まりしたほか、醤油などの調味料、化粧箱などの資材費でコストが上昇した。ただ、昨シーズンに価格が高騰したまぐろやいくら、ほたて、かになどで価格が落ち着いたことも背景に、特に「海鮮おせち」では小幅な値上げにとどまった。年に一度のお祝いであることから「値上げ幅は最小限」といった声も聞かれるほか、例年に比べて割安に入手できる高級食材を使用して割高感を抑えたおせちもみられ、値上げの動きは全体的に抑制されている。

おせち料理の価格推移

	平均価格	値上げ額	上昇率
2022年	24,382円	—	—
2023年	25,461円	+1,079円	+4.4%
2024年 (今シーズン)	26,619円	前年比 +1,158円 +4.5% 2年前(2022年)比 +2,237円 +9.2%	

値上げ幅 2023・24 年 比較

